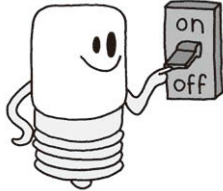

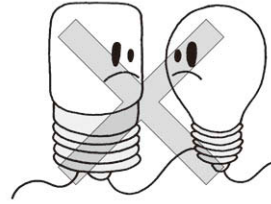


「点灯管」を安全にご使用いただくために

安全上の注意

⚠ 警告	⚠ 注意	
<p>取り付け、取り外しや器具清掃のときは、必ず電源を切ってください。</p>  <p>感電の原因となります。</p>	<p>使用済みの点灯管は割らずに廃棄してください。</p>  <p>(点灯管を割ると) ガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。</p>	<p>点灯管を電球の回路へ取り付けしないでください。</p>  <p>ガラスが破損し、ケガの原因となることがあります。</p>

点灯管のご使用上の注意

<p>蛍光ランプやソケットに適合したものを使用してください。ランプの短寿命や不点灯の原因となることがあります。</p>	<p>ソケットに確実に取り付けてください。(取付けが不完全ですと落下・不点灯の原因となることがあります。)</p>	<p>古くなると、蛍光ランプの点灯が遅くなったり、点滅を繰り返すことがあります。直ちに電源を切って点灯管を交換してください。ランプも調べてください。ランプの短寿命や不点灯の原因となることがあります。蛍光ランプ交換時には点灯管も同時に交換してください。</p>
<p>【器具設計上の注意】 E形口金の点灯管を使用する器具は、必ず雑音防止用コンデンサを並列に使用してください。</p>	<p>【器具設計上の注意】 殺菌ランプなどの紫外線光源からの直接照射を受ける場所では、樹脂ケースの劣化が早まります。一般のランプでも周囲温度が65℃を超える場所はおやめください。</p>	<p>調光機能・自動点滅装置のついた器具、非常灯・誘導灯には使用しないでください。不点灯の原因となることがあります。</p> <p>【器具設計上の注意】 水滴のかかる恐れのある場合は、防水構造の器具を使用してください。</p>

電子点灯管のご使用上の注意

<p>電子点灯管を自動点滅器付き器具、調光機能付き器具、高照度形器具、非常灯や始動時の予熱電流値が極めて小さい特殊な安定器などに使用しないでください。ランプのちらつき・不点灯の原因となります。</p>	<p>電子点灯管は、電源スイッチを数秒間に繰り返し入り切りしないでください。FE4P、FE5Pは電子点灯管の故障の原因になります。FE1Eは蛍光灯が不点灯となります。</p>	<p>電子点灯管の場合、蛍光灯が寿命になった時には、FE4P、FE5Pを使用の蛍光灯は点滅を繰り返さず消えます。FE1Eを使用している蛍光灯はちらつき数回点滅を繰り返した後、消えます。この場合は新しい蛍光灯と交換してください。</p>
<p>電子点灯管の場合、蛍光灯が点灯する時に器具から音がすることがありますが異常ではありません。</p>	<p>電子点灯管は周囲温度5℃～40℃で使用してください。低温時には蛍光灯が点灯しない場合があります。蛍光灯が点灯しない場合は電源スイッチを入れ直してください。</p>	<p>人感スイッチなどの自動点滅装置や調光機能付き器具では使用しないでください。ランプのちらつき・不点灯の原因になります。</p>
<p>電子点灯管の場合、蛍光灯が点灯しない時や使用電圧が低下して蛍光灯が消えた時は、電源スイッチを入れ直してください。</p>		